

社会福祉法人愛光園 カレンホーム（共同生活援助）

令和7年度 地域連携推進会議 議事録（要約）

開催日時	令和7年6月10日(火)16:00～17:30
開催場所	社会福祉法人愛光園 アイヴィレッジ 1F
参加者	利用者様代表 1名 利用者様ご家族代表 1名 地域住民代表 1名 館林市高齢障がい政策課 1名 法人職員 4名（管理者、副管理者、サービス管理責任者、相談支援専門員）
会議内容	
地域連携推進会議について	資料を基に地域連携推進会議の目的や経緯等を説明 （意見や質問として） ・ニュースで障がい者グループホームの虐待事件等を受け、行政による指導はあるかという意見があり、実地指導監査の仕組みやカレンホームの状況を説明。 ・この会議の目的として、外部の人家族が定期的に来所して、もらうことでさらに風通しが良くなれば良い。 近所の人との話の中で、キッチンカーレク等を通して少しずつ施設のことを知ることができてきている。
法人概要の説明	愛光園の沿革、アイヴィレッジの特徴、実施しているサービスについて説明
施設見学	共同生活援助、短期入所の定員、職員配置について説明 （意見や質問として） ・ユニットによる違いや部屋の設備等について質問あり。
事業所説明	障害者支援施設とグループホームの違いを説明し、グループホームの類型、短期入所について説明 評価シートを用いて、カレンホーム職員の配置、入居者の支援区分・年代・障害種別等について説明 カレンホームで実施しているレクの内容や頻度など、写真を用いて説明
参加者の皆様からの意見・質問	・建物がきれいで、利用者が清潔な環境で生活できていいと思った。 ・（利用者様本人より）生活は満足しているが、壁を叩いたり、廊下を走り回ったりする人がいるということを不満に思う利用者もいるとのこと。 →改めて職員で共有し、出来るだけ皆さんが落ち着いて過ごすことが出来るよう支援していく。 ・来所前に連絡をすると雰囲気も良く、面会に来やすい。 ・元病院という建物を良く生かしていると思った。反面、この広さの中でどこまで見守りが出来ているのかが気になった。

	→朝と夕方は職員配置を多くして支援の目を増やし定期的な見回りも行っているが、すべてを見れるわけではないので ICT 機器等の導入を検討している。あくまでもグループホームのため、常に職員が見守りに付くことは難しいことはご入居の際お伝えしている。 ・キッチンカーレクについて 近所の方、約 50 世帯にチラシを配布。初めてということで不安もあったが一定の世帯の方に来ていただき喜んでいただいた。今後は「いきいきサロン」や老人会など団体の方にも見てもらえるようにするのはどうかとのこと。 ・堀工町内に広場があり、そこでどんど焼きや夏祭り他が開催されている。いろいろとイベントがあるので愛光園からも参加できれば良い。 ・カレンホームで行っているレクについて、家族も参加できると良い。 →次回の明和町の花火大会からご家族を招待することを検討する。
その他	今回はカレンホームの入居者が居室へ戻る時間に合わせて 16：00 からの開催にしたが、今回の開催を受けて次回の時間設定等を考えていく。